

ふえーぬ風

発行 〒901-1115
沖縄県南部農業改良普及センター
南風原町字山川517
TEL: (098)-889-3515
FAX: (098)-835-6010



沖縄県南部農業改良普及センターでは、「新・沖縄21世紀ビジョン基本計画」、「新・沖縄21世紀農林水産業振興計画」等に基づき、以下4つの活動方針を定め、生産者皆様をはじめとする各関係機関等と連携を図りよりよい農業振興・発展を目指して取り組んでおります。

本普及センターだより「ふえーぬ風」では、各品目の栽培管理や新規就農関係、農業士等の組織活動、久米島や南北大東島等管内離島情報など、様々な情報を提供してまいります。皆様の日々の農業経営にご活用頂けると幸いです。



- ### 1. 担い手の育成・確保と経営力の強化

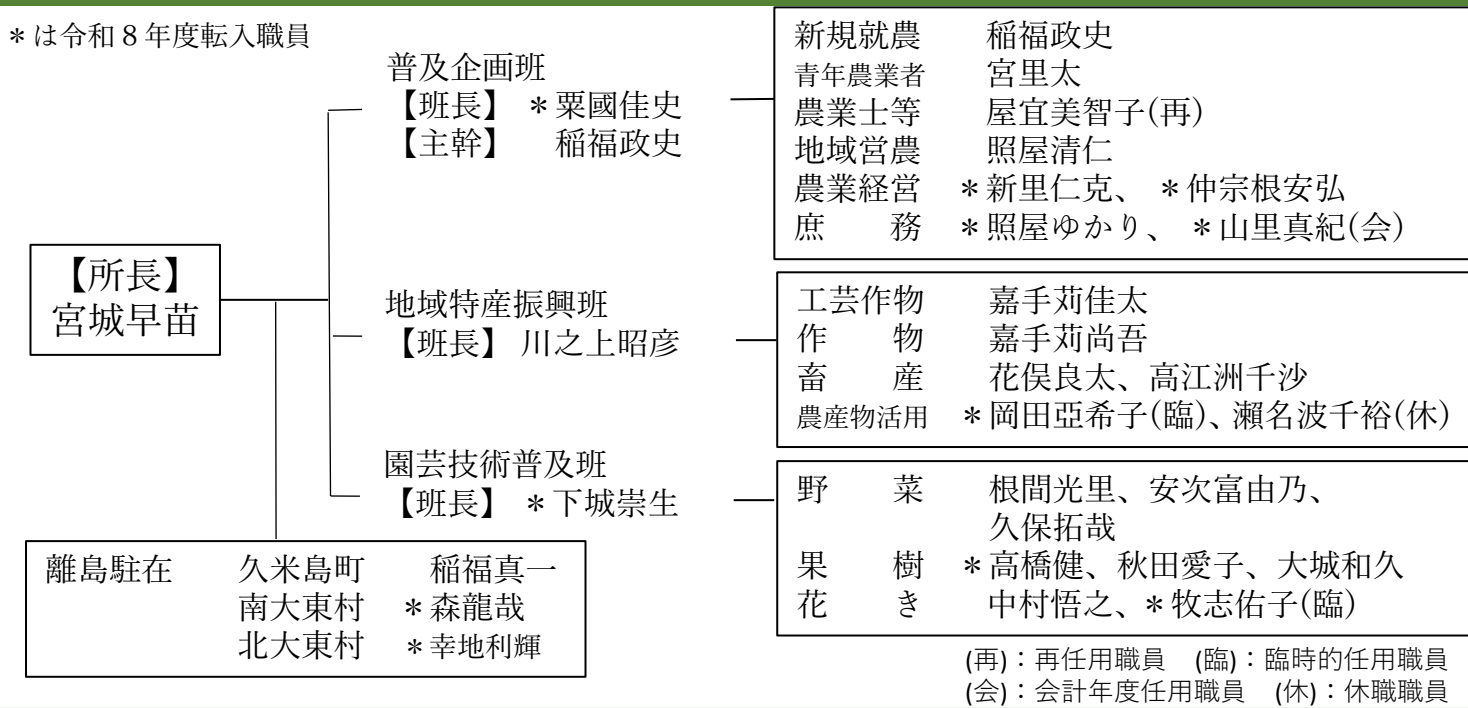
新規就農者や認定農業者の技術・経営改善、農業青年クラブや農業士会、農業機械士会等組織活動の充実・強化、後継者や女性の経営参画推進等を支援します。
- ### 2. おきなわブランドの産地育成と生産体制への支援

野菜、花き、果樹、かんしょなどの拠点産地の育成や、さとうきびの単収向上、畜産の生産体制の強化等の経営管理能力向上を支援します。
- ### 3. 環境に配慮した持続可能な農業生産

エコファーマーの育成、農薬の適正使用や労働安全の確保、食の安全・安心の確保等の農業経営の改善・効率化を支援します。
- ### 4. 魅力と活力ある農村の振興

地産地消の推進、女性起業家等の支援、地域農産物の活用、地域農業の活性化等の取組を支援します。

令和 8 年度 南部農業改良普及センター組織体制



施設野菜における栽培後期の病害虫対策について

- 病害虫防除のために、雑草や被害葉、摘葉残さの適正処理に努めましょう。
- 収穫残さはそのまま放置すると病害虫の発生源になります。ビニール袋に入れて処分したり、ハウスの蒸しこみ処理を行いましょう。

対策1. ハウスから持ち出す雑草や摘葉残さの処理

- 残さには病害虫が残っているため、**密封して持ち出す**のが基本です。
- ビニール袋は、太陽光の当たるところに1～2週間放置し、虫を蒸し殺します。

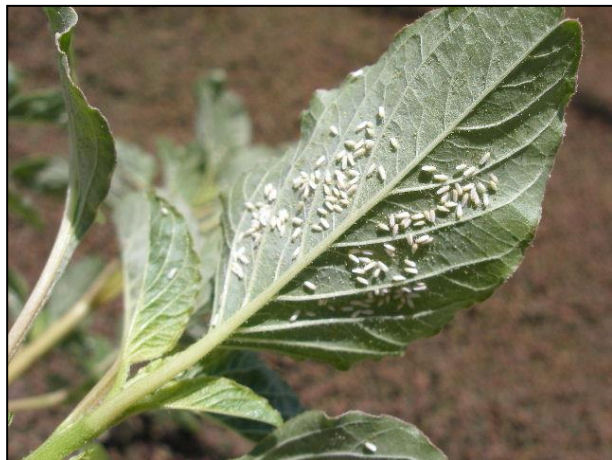


図1.葉裏のタバココナジラミ



図2.ビニール袋に密閉された残さ

- 残渣の量が多く、ビニール袋で対応できない場合は、**ビニールシートやマルチ等で被覆しましょう。**



図3.そのまま放置されたトマト残さ



図4.ビニールシートで被覆された残さ

対策2. 栽培終了後のハウス蒸しこみ処理

- 栽培終了後は、**害虫を薬剤防除**したうえで、**作物や施設内の雑草を全て抜き取り**、施設を**1～2週間密閉**して、**高温蒸し込み処理**します。
- 一例として、コナジラミの死滅には50℃の温度が必要です。
- ハウスを**完全に締め切ると**、**高温になり配管の塩ビパイプが変形する**ことがあるので、様子を見ながら側窓を少し開けます。

次期栽培にむけたトルコギキョウの立枯病対策

トルコギキョウの立枯病は、主に土中のフザリウム属菌が根や茎に感染し発症します。定植前の土壌消毒は、土中の菌密度を下げるため、立ち枯れ病対策として有効です。土壌消毒は、気密性が低いと効果が下がるので、被覆資材等による密閉が重要です。

【参考】太陽熱土壌消毒

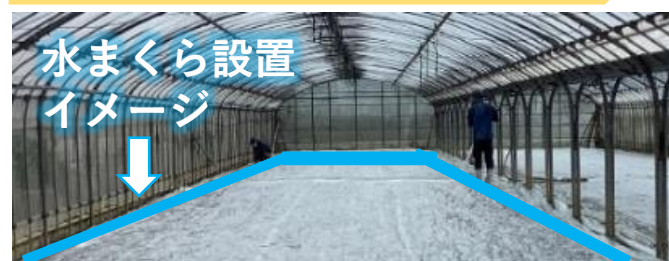
①ほ場の調整

- ◆植物残渣を片づけ、土壌を耕耘・碎土する
- ◆堆肥を10aあたり1,000kg投入し、大きな土塊ができないよう混和する

②かん水チューブの設置・かん水

- ◆かん水チューブを設置し、10aあたり30～50tを目安にたっぷりかん水する

③土壌の被覆



- ◆透明なビニール（穴、破れのない廃ビニール等）で、ハウスの端の土壌まで被覆する
- ◆ビニールは、水まくら等で隙間なく抑える

POINT

- ①被覆時期は、日照量の多い7～8月
- ②被覆期間は1ヶ月以上を推奨
- ③効果は地表30cm程度のため、土壌消毒後にあまり土を動かさないようにしましょう

※太陽熱消毒以外の土壌消毒については、普及センターまでお問合せください。（園芸技術普及班 牧志）

キク類の親株管理について

キク栽培では「苗半作」と言われるほど苗生産は重要です。しかし近年、良い穂が取れなかった、苗が足りなかった、という声を聞くことが増えました。最近の厳しい気象条件下では、今まで通りのやり方だと生育不良になることも考えられます。栽培条件を可能な限りキクに合わせて整えてあげましょう。

水分条件

キクの根は過湿を嫌います。梅雨前後の多湿・過湿条件時は疫病などの病害が多く出ます。まずは排水性の改善として前作後のプラソイラやサブソイラを使った心土破碎作業を検討してください。長年の不耕起栽培などで分厚くカチカチになってしまった耕盤層を破碎して、水の抜ける作土層を作りましょう。なお、ソルゴーなどの太い根を張る緑肥の栽培も排水性改善に有効です。また、30cm程度の高畝にするのも効果的な対策の一つです。

温度条件

農研セの試験結果では、50%ほどの遮光資材の設置とマルチング（敷草やタイベック等遮熱効果のあるもの）の使用で地温が下がることにより、草勢が維持されて採穂数が増えることが分かっています（但し、マルチに関しては排水性の悪い場所だと病害の蔓延に繋がりますので、排水性が良いことが大前提）。しっかり暑さ対策をして親株の草勢を維持し、苗品質の向上と穂数の確保に努めましょう。また遮光の設置に関して、防風ネットを使う場合はそのまま台風襲来時の浮き掛けに流用も可能です。その際には通常時は裾を降ろさず上面近くまでたくし上げて、通気性の確保に留意してください。



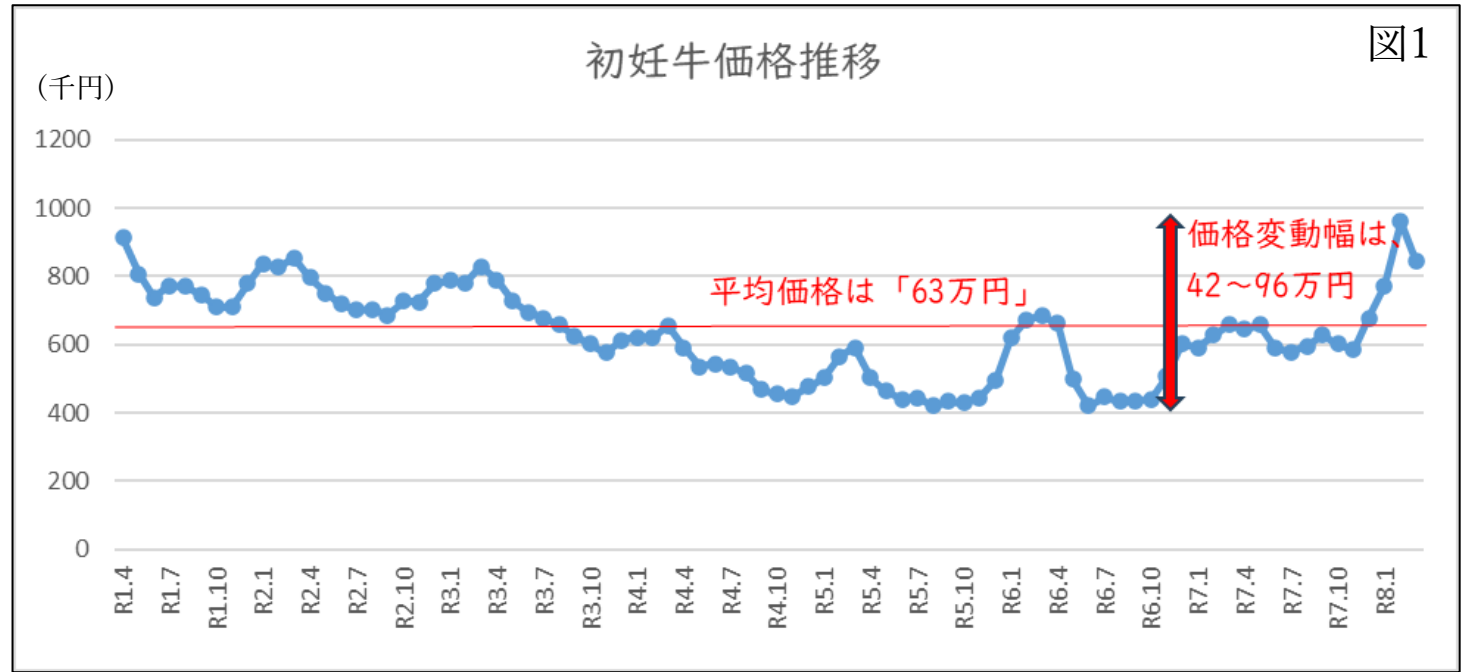
（園芸技術普及班 中村）

養 牛 情 報（酪農目線から）

急な買い物は良い買い物なのか～高騰する初妊牛の導入コスト～

メス子牛の減少が見込まれることに加え、F1生産へのシフトや近年のコスト増も重なり、初妊牛の価格は近年上昇傾向にあります。（図1 参照）

一部の地域では初妊牛の導入に補助がありますが、初妊牛を過去7年間の平均価格(63万円)で買っても、輸送費や保険料を足すと合計で約83万円になります。



更新は運じゃなくて段取り！価格変動に強い自家育成牛の確保について

自家育成（自牧場育成／安田の預託牧場利用）の育成コストは約51～57万円で、価格変動が小さく安定しています。

また、自家育成は育成場所の確保や労力が必要となる一方、次のようなメリットがあります。

- 畜舎で成績が良く、沖縄の気候に適応した母牛から生まれる子牛を、計画的に確保できる。
- コスト面では、支出が日々に分散されるため、資金繰りが安定しやすい。
- 雌雄判別精液を活用することで、ほぼ雌子牛の確保が可能。近年は国や県の事業を活用することで、低コストで優良精液の導入も可能。
- 一部飼料に、残飼や近隣の牧草を利用することで、育成コストのさらなる削減が期待できる。

外の都合より、自分の計画

年間更新率は平均で3割程度と言われます。自家育成と導入を併用しながらも、できるだけ自家育成牛を確保して、外の都合に振り回されない経営を目指しましょう。



（地域特産振興班 花俣）

マイナーだけど近年よく相談のある「マンゴーの害虫」



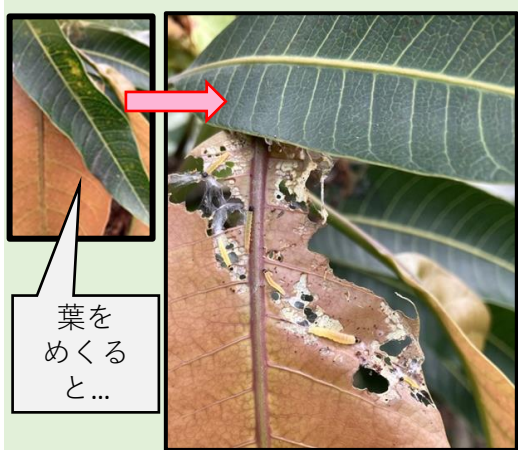
ビサヤアカアシカタゾウムシ



マンゴーの新葉、花、幼果などを食害。マンゴー以外の他の野菜・果樹でも発生。捕まえようとするすると死んだふりをして、樹から落ちて逃げる。県内では新しい害虫で詳細は不明。

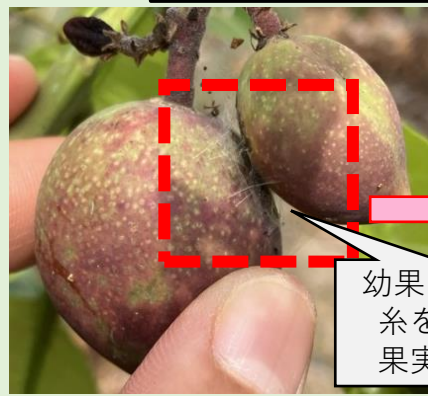
☑より詳細情報は→令和 5 年発生予察特殊報第 4 号

ハマキガ類



葉をめくると...

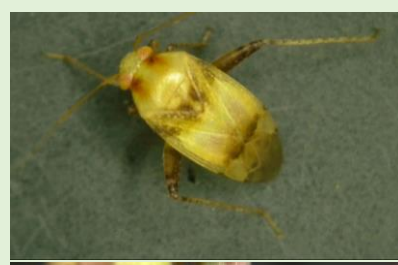
ガ類の幼虫。葉や果実、花穂に発生し、食害する。重なり合っている所に、糸を出してつづるように隠れている。発生圃場では摘果遅れで被害が大きくなる。



幼果の隙間に糸を張って果実を加害

☑より詳細情報は→平成30年発生予察特殊報第 7 号「オオセンダンヒメハマキ」

ウスオビヒメカスミカメ



果軸の離層を加害？

詳しい生態は不明。開花期に発生し、著しい落果を引き起こす事例がある。発生が毎年問題になるわけではないが、開花中の発生は注意が必要。

注意 灌水不足や摘果遅れで起こる落果もあります。灌水・摘果もしっかりと。

👍「うちの園地でも見たことがある」「防除事例が知りたい！」「良い防除方法見つけた！」など、情報・質問は果樹担当までお寄せください。

通常のマンゴーの病虫害情報については・・・

「マンゴーの栽培暦・防除スケジュール」あります。栽培・防除の参考にされたい方は、普及センター果樹担当までお問合せください。また、県の病虫害防除技術センターHPにて発生予察情報や病虫害の技術情報が載っていますので、ご活用ください。冊子「写真で見るマンゴーの病虫害と防除（沖縄県植物防疫協会）」も普及センターにて販売しています。



生産者のみなさん！「GAP」に取り組んでみませんか？

Good Agricultural Practice

良い 農業の 実践
グッド アグリカルチュラル プラクティス の頭文字をとってGAP

GAP：持続可能な農業のための適正な実践

☑自分の農場でリスクチェックし改善につなげましょう

収穫物に動物が接触



潜むリスク
・野生動物により病原微生物が持ち込まれる可能性

対策
・野生動物などが出荷場や栽培施設に入らないよう侵入防止対策をしましょう。

廃棄物を農場内で焼却



潜むリスク
・大気汚染や近隣住民からの苦情発生の可能性

対策
・ビニール類は野焼きせず、雑草等の焼却処理は少量ずつ行いましょう。

シートベルトの不使用



潜むリスク
・横転事故の時にトラクタの下敷きになる可能性

対策
・安全フレームを装備し、シートベルト、ヘルメットを着用しましょう。

保険に未加入



潜むリスク
・事故で負傷した際、医療費が支払えない可能性

対策
・労災保険等に参加しましょう。

生産・出荷記録を保存していない



潜むリスク
・残留農薬、地下水汚染、経営費の増加の可能性

対策
・施肥・農薬・かん水等生産記録と収穫・出荷記録を結び付けて記録の作成と保管しましょう。

※上記チェック項目は一例です。関心のある方はご連絡ください。
(地域特産振興班：川之上)

離島情報（久米島町）

1. 久米島町パインアップル産地協議会設立

久米島町は国頭マージを始めとする酸性土壌を多く有することから古くからパインアップルの生産地として知られている。缶詰工場もあったほど生産量が多かったが、輸入自由化のあおりを受け現在では最盛期の10分の1にも満たない生産量である。そこで久米島町では沖縄県育成の生食用品種の生産を拡大し振興を図るため令和8年3月23日に久米島町パインアップル産地協議会を設立した。今後の生産量の増加が見込まれる。



農業研究センター研究員を招いての講習会

2. さとうきび

令和7/8年期のさとうきび実績は、表2のとおりであった。

令和7年度は、例年より梅雨明けが2週間早くロール現象等の干ばつの影響も多く見られたが、生産者の適切な肥培管理や、10月後半からの適度な降水、台風の影響もなかったことから、前年を約7,500t上回る実績となった。

しかし、ハーベスターの出火が1台確認されたのに加え、全体的に故障や不具合が多く製糖期が4月中旬まで続き、株出し管理や春植の遅れが懸念されている。

引き続き、地域一体となった取組を継続、発展させ、さらなる生産性向上へつなげる必要がある。

令和8年4月24日には第50回沖縄県さとうきび競作会の表彰が行われた。多量生産部門の生産法人の部で農業生産法人有限会社あらかきファームが生産量1,160 t、平均甘蔗糖度14.3度で県1位となった。特別優良事例の部では長年久米島の糖業に貢献してきたことから新里榮勇氏が表彰された。

表2. さとうきびR7/8年期製糖実績

	収穫面積 (ha)	生産量 (t)	単収 (t/10a)
夏植	120	8,400	7.00
春植	115	6,485	5.60
株出	730	43,821	6.00
合計	965	58,706	6.08

引用：久米島製糖資料より



表彰を受ける新里榮勇氏



「緑肥」で解決！スマートな土づくり

「堆肥の運搬や散布が大変…」 「肥料代が高い…」 「圃場の排水が悪く、立ち枯れが多い…」
そのお悩み、「緑肥」が解決のヒントになるかもしれません♪

☆緑肥導入のメリット☆

【コスト削減】

- 重い堆肥の運搬が無い → **購入コストと労力削減**
- 緑肥が「自給肥料」になる → **化学肥料の削減**

【排水・作業効率の向上】

- 根が深層の土を破碎 → **排水改善＋耕起作業がラク**
- 雑草を抑える → **除草の手間削減**

【病虫害対策】

- 特定の緑肥（対抗植物） → **線虫や土壌病害対策**

☆おすすめ緑肥(春～夏播種)☆

クロタラリア（マメ科）



肥料効果大きい！
窒素の減肥に

播種量：5kg程度/10a
有機物量：堆肥1～2 t 相当

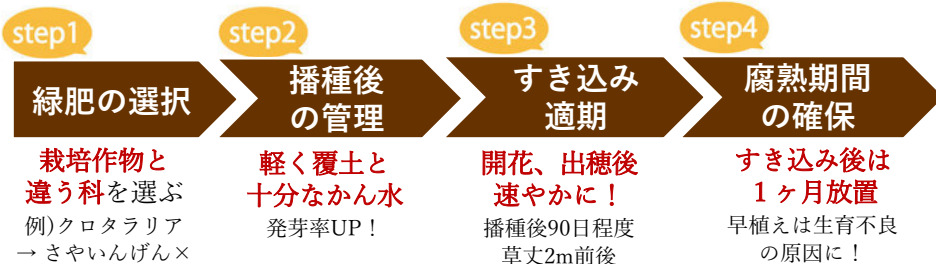
ソルゴー（イネ科）



圧倒的な有機物量！
フカフカな土に

播種量：3～4kg程度/10a
有機物量：堆肥2～3 t 相当

☆成功への4ステップ☆



次作まで畑が3ヶ月空くなら
「緑肥栽培」にチャレンジ！

地域によっては
種子代の補助がある場合も！

(園芸技術普及班 根間)



セグロウリミバエ根絶へ向けて 生産農家並びに家庭菜園の皆様へご協力をお願いします！

- 現在、国・県による**セグロウリミバエ緊急防除**が実施されております。それにより、県産農産物の移動規制も行われています。
- 県では不妊虫放飼によるセグロウリミバエの根絶を実施していますが、家庭菜園などでの発生源が多いと根絶に時間を要し、農業生産にも長期間、悪影響を及ぼします。
- 根絶は県民の皆様の協力なくしては達成できません。**引き続き、ほ場周辺の作物残渣処理や家庭菜園でのウリ科作物の栽培自粛など、ご協力をお願いいたします。



★施設栽培では、防虫ネットや被覆ビニールの破れを補修し、入口の二重カーテン等で虫の侵入を防ぎましょう。



ファスナー付きカーテン

★適切な薬剤防除により
虫の侵入を防ぎましょう

※植物防疫法に基づき散布
できる農薬のリストが
あります。詳しくは県HP
または普及センターに
お問い合わせください。



農薬リスト
.....
.....
.....



にがうり

**家庭菜園でのウリ科作物の栽培自粛も
引き続き お願いいたします**

(引用：県病虫害防除技術センター資料より)



へちま

農地からの土壌流出を防ごう ①

農作物の収穫後や畑の更新時、播種時など、土がむき出しの状態になっている時に雨が降ると、容易に土壌が流れてしまいます。

畑から土が流れるとどうなる？



有機物や肥料を含んだ肥沃な作土が失われます。



流れた土が海まで流れ、生物や環境に様々な影響を与えます。

土壌流出を防ぐためには

カバークロップの導入： 農作物を植えない時期の畑地（休耕地）にひまわり、クロタラリア、ソルゴーなどの植物を植えて畑の裸地化を防ぎ、土壌流出を抑制します。



ソルゴー



クロタラリア



ひまわり

毎年5月の第3月曜日から30日間は「土壌保全月間」です。土壌保全月間は、土壌の流出を未然に防止するため、土壌保全の必要性について、農家個々の意識啓発を図ることを目的としています。

農地からの土壌流出を防ごう ②

収穫後や更新時、播種時など、土がむき出しの状態になっている時に雨が降ると、容易に土壌が流れてしまいます。

土壌流出を防ぐためには

グリーンベルトの設置：畑の端や周りにベチバーやゲットウなどの農作物を植えることで、畑地からの土壌流出を抑制します。



マルチングの実施：さとうきびの葉などで表土を覆い、土壌流出を抑制します。



さとうきびの株出し栽培：株出し栽培で、裸地期間を短くし、土壌流出を抑制します。



土壌流出防止には、畑の端にさとうきびの葉柄梱包を設置することやサブソイラやプラソイラによる心土破碎で土壌の透水性を高め、畑からの表面流水を抑制する事例などもあります。農地からの土壌流出を防ぐため、できることから取り組みましょう。